

令和2年度～5年度使用 小学校用教科用図書採択理由書

宮崎大学教育学部附属小学校

教科用図書名 【 道徳 】
発行者名 【 日本文教出版 】
教科書名 【 小学道徳 生きる力 】

観点1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等
(1) 年度前半に、自分自身にかかわることや集団生活の充実、よりよい人間関係の形成についての内容項目の教材が配列されている。後半には、今までの学びや経験を生かして考えることのできる教材が扱われている。このことから、学習の深化、発展を意識した教材を配置し、学校行事や子どもの生活体験と関連を図った指導ができるような構成・配列の工夫が見られる。 (2) 年間をとおして内容項目がバランスよく配列されている。
観点2 内容や指導の充実
(1) 学び方の基本を理解させるための「学習の手引き」や教材への関心をもたせるための発問を掲載するなど、教材への見通しをもたせたり、問題意識を高めさせたりすることで、主体的に自分とのかかわりで考えさせることができるような工夫が見られる。 (2) 別冊「道徳ノート」や教材と関連した内容を取り上げた「心のベンチ」を設定するなど、自分の考えを広げさせたり、多様な価値観に触れさせたりすることで、多面的・多角的に考えさせることができるような工夫が見られる。 (3) 教材が子どもの日常生活と重なるものが多く、日常のなかでの葛藤する場面とつなげて考えることができる内容となっている。
観点3 利便性の向上
(1) 学習効果や利便性については、巻頭に「道徳のとびら」や「道徳の学び方」を設けることで、1年間の学習の全体像、系統性が一目で分かたり、発達の段階に応じた学びに見通しをもったりすることができる工夫がなされている。また、別冊の「道徳ノート」を設けることで、教材ごとに書く活動をとおして思考を深めたり自己評価をしたりして学びを積み重ねられるような工夫が見られる。 (2) 児童にとっての分かりやすさについては、教材の文頭に主な登場人物の紹介や教材につなぐ一文を設けることで、内容をイメージしながら学習に取り組むことができるような工夫が見られる。
観点4 地域の教育の特色や児童の実態等
(1) 地域の伝統や文化、行事、先人などを取り上げた資料が配列されている。宮崎県でおこった口蹄疫についての教材も扱われている。